

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	鵜毛・靱木地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・日向市	452068	1	平成22年度～ 平成24年度	平成22年度
活性化計画の区域				
鵜毛・靱木地区（宮崎県日向市）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	2年	100%	

(コメント)

計画期間内に100%目標を達成することができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整 29.4ha			日向市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
—	平成22年度	平成22年度	—	
事業の効果				
本事業の実施により、農地整備事業による農地集団化の有用性が広く認知され、地区内農家数の維持及び合意形成促進等の目標を達することができた。その結果、目標年度である平成24年度の事業採択につながった。				

3 総合評価

(コメント)

本事業によって、意向調査や営農構想を作成し、担い手の確保・定住化に向けた活動等に貢献することができた。また、農用地利用状況等の把握、営農組合設立に向けた地元協議など地域の活性化に貢献することができた。

#### 4 第三者の意見

(コメント)

本地区は、中山間地域に位置し、高齢化が進んでいるが、中山間地域等直接支払制度を利用して農地保全を行い、農地・水・環境組織を立ち上げ地域活性化にも意欲的である。本事業により、農家意向調査や営農構想を作成し、担い手の確保に向けた活動等に貢献できている。また、農地整備による農地の団地化の意義が理解されたことにより、地区内農家の維持や合意形成促進等の目標を達成することができている。その結果、平成24年度の事業採択につながっており、今後の地域の発展と地域農業の向上が期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)